

職員個人（学校）向けアンケート（案）

資料 2 - 6

番号	質問	選択肢	参考にしたアンケート
1	あなたは、「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。 （あてはまるもの 1 つを選択してください）	1. 認識している 2. 昨年までは認識していなかったが、認識するようになった 3. 認識していない	厚労省 要対協
2	参考資料に記載のヤングケアラーの説明を見て、現在、あなたが関わっている子どもやご家族にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいますか。（あてはまる番号 1 つを選択してください）	1. いる → 【問 3】へ 2. いない → 【問 4】へ 3. 分からない → 【問 4】へ	厚労省 学校
3	【問 2】で 1.「いる」と回答した方にお伺いします。 ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか？（当てはまる番号すべてを選択してください）	1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている 2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている。 3. 家族の代わりに障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている。 4. 目を離せない家族の見守りや声掛けをしている。 5. 家族の通訳をしている 6. 家計を支えるために、アルバイト等をしている 7. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している 8. 病気の家族の看病をしている 9. 障がいや病気のある家族の身の周りの世話をしている。 10. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている 11. その他（ ）	厚労省 学校
4	関わりのある子どもや家庭に「ヤングケアラー」がいる可能性を早期に確認する上で、課題に感じることはありますか。 （あてはまるものすべてを選択してください）	1. 組織の職員において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している 2. 既存のアセスメント項目では、日常生活の様子について踏み込んだ確認ができない 3. 介護や障害等の課題に関して、各関係機関や団体などの情報共有が不足している 4. 虐待などに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる 5. 家族内のことで問題が表に出にくく、子どもの「ヤングケアラー」としての状況の把握が難しい 6. ケアマネや CSW、学校の先生など関係機関や団体の職員等において「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している 7. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない 8. その他（ ）	厚労省 要対協

職員個人（学校）向けアンケート（案）

資料 2 - 6

番号	質問	選択肢	参考にしたアンケート
5	<p>以下は、「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するための主なチェック項目です。追加すべき項目や、分かりにくい点や案があればお書きください</p>	<input type="checkbox"/> 学校を休みがちである <input type="checkbox"/> 遅刻や早退が多い <input type="checkbox"/> 保健室で過ごしていることが多い <input type="checkbox"/> 精神的な不安定さがある <input type="checkbox"/> 身だしなみが整っていない <input type="checkbox"/> 学力が低下している <input type="checkbox"/> 宿題や持ち物の忘れ物が多い <input type="checkbox"/> 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い <input type="checkbox"/> 学校に必要なものを用意してもらえない <input type="checkbox"/> 修学旅行や宿泊行事等を欠席する <input type="checkbox"/> 校納金が遅れる、未払い <input type="checkbox"/> いつも一人でいたり、友だちと上手くいっていない <input type="checkbox"/> 疲れていることが多い <input type="checkbox"/> 授業中寝ている <input type="checkbox"/> 虫歯が多い	厚労省 学校
①	ご意見	【自由記述欄】	厚労省 学校
②	変更項目案	【自由記述欄】	厚労省 学校
③	追加項目案	【自由記述欄】	厚労省 学校

職員個人（学校）向けアンケート（案）

資料 2 - 6

番号	質問	選択肢	参考にしたアンケート
6	ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか？（あてはまる番号全てを選択してください）	1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること。 2. 教職員がヤングケアラーについて知ること 3. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること 4. SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること 5. 子どもが職員に相談しやすい関係を作ること 6. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること 7. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること。 8. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること 9. ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること 10. 福祉と教育の連携を進めること【具体的に： 】 11. その他（ ） 12. 特にない	厚労省 学校
7	ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。		厚労省 学校

※厚労省 要対協・・・厚労省 「要保護児童対策地域協議会におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査」令和2年度実施

※厚労省 学校・・・厚労省 「学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査」令和2年度実施